

エビネとアケハ(5月)

コブシ(4月)

カタクリ(4月)

タマノカンアオイ(5月)

「縄文の村」は 自然の魅力も 盛り沢山！



春のカタクリ・エビネや
多摩周辺に固有のタマノカンアオイなど、
季節によって様々な草花や鳥・虫達に
出会う遺跡庭園「縄文の村」。
多摩丘陵の自然散策の際には
是非お立ち寄り下さい。

ニリンソウ(4月)

ウバコリ(8月)

復元住居の雪景色(1月)

ナツツバキ(7月)

ゼンマイ(4月)

クリ(9月)

いにしえ人の暮らしと植物



黄色に色づいたコナラ (12月)

様々な山野草から紅葉まで。四季折々の色に彩られるのも「縄文の村」の魅力の一つ。また、春には山菜が芽吹き、秋にはオニグルミやトチノミなどの山の恵みも一杯です。いにしえ人が糸作りに使ったカラムシなども展示しています。

主な山野草：アオイスミレ、アズマイチゲ、アマドコロ、イカリソウ、イチリンソウ、イラクサ、ウバユリ、ウラシマソウ、エビネ、カタクリ、カラムシ、カンスゲ、キツネノカミソリ、ギンラン、クサソテツ、ジャノヒゲ、シュンラン、ゼンマイ、タマノカンアオイ、ナルコユリ、ニリンソウ、ノビル、ハナウド、ヒガンバナ、ヒトリシズカ、ツワブキ、ヤブカンゾウ、ユキザサ、ワニグチソウ、ワラビ 他



オニグルミの実 (9月)



ヤマブキ (4月)



トチノキの花 (5月)



トチノミ (9月)



キクラゲ (5月)



カラムシ (糸作りの原料)

四季の花とみどり

昆虫・鳥たちとのふれあい

「縄文の村」では、今までにカブトムシやクロアゲハなど里山に棲息する100種類以上の昆虫や、コゲラ・アオゲラなどのキツツキの仲間をはじめ、30種類以上の鳥や動物が確認されています。運がよければオオタカやタヌキに遭遇できるかも！ ※これらの生物は常時棲息している訳ではありません。



カブトムシ (夏)



ウラミアカシジミ (6月)



アオゲラ



ホンシドタヌキ



ツマキチョウとムラサキケマン (4月)



オオタカ